

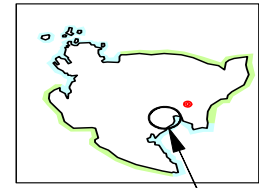
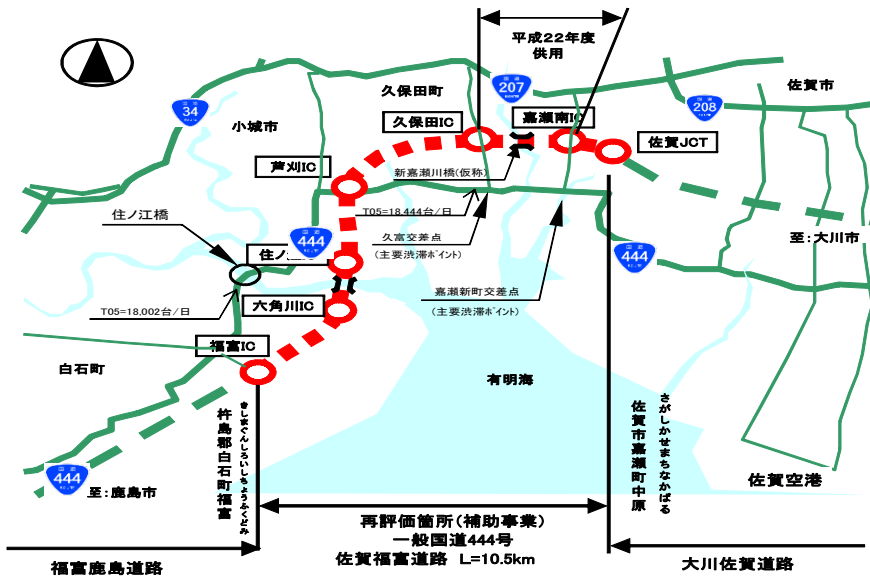
## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 有明海沿岸道路 一般国道444号 佐賀福富道路	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県佐賀市嘉瀬町中原 至：佐賀県杵島郡白石町福富	延長	10.5km		
事業概要					
国道444号佐賀福富道路は、地域高規格道路である有明海沿岸道路の一部を担う延長10.5kmの道路であり、国道444号の交通混雑の緩和及び交通隘路区間を回避することによる緊急輸送路としての機能確保を目的とするバイパス事業である。					
H13年度事業化	都市計画決定	無し	H18年度用地着手	H19年度工事着手	
全体事業費	約414億円	事業進捗率	約33%	供用済延長	—km
計画交通量	21,500～27,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)  2.8  (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 229/369億円 〔事業費：223/363億円〕 〔維持管理費：5.9/5.9億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,042/1,402億円 〔走行時間短縮便益：797/797億円〕 〔走行経費減少便益：150/150億円〕 〔交通事故減少便益：95/95億円〕	基準年	平成22年
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（第三種空港へのアクセス向上）</li> <li>・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路）</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
佐賀市から鹿島市までの沿線市町や県議会議員及び商工会等で構成する有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）による要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会等の意見					
事業者の事業継続の判断については、審議の結果、委員会としても妥当と判断する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道444号の交通量が増加している。</li> <li>・平成20年度に福岡県の大牟田市から大川市までが開通。</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年3月に嘉瀬南IC～久保田ICまでが開通</li> <li>・残区間においては、用地買収及び改良・橋梁工事の推進を行っている</li> </ul>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるよう、引き続き関係機関との調整を図りながら整備の推進を図っていく。					
施設の構造や工法の変更等					
本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



国道444号 佐賀福富道路

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。